

Vol.3

2008.12

第四十八回日本SF大会 T-con 2009

とちぎSFファン合宿 先行情報誌

T-con 2009
Progress Report



発行 第四十八回日本SF大会実行委員会
製作 編集部
〒328-0075
栃木県栃木市箱森町25-68
◎電子メール：info@t-con2009.jp
発行日 2008年12月27日

実行委員会からのご挨拶

●年末を控え、今日もスタッフは大忙し！
 いよいよ2008年も終わりに近づきました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。年末年始の休みは、「積ん読」の消化に励むという方も多いと思います。今年のSF大賞は、貴志祐介さんの『新世界より(上・下)』とアニメ『電脳コイル』がダブル受賞という豊作の年となりました。まだ未読、未見の方は、この機会に是非。

今回のプログレス・レポートでは、栃木県民の方を対象にした割引制度について紹介しています。せっかく近所でSF大会が行われるというのに、参加費が高いことで尻込みをしている方がいらっしゃったら、是非、この制度を利用して参加していただきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

T-con2009 実行委員会
 スタッフ一同

速報！大会の時間割です。

とにかく速報。詳細は次号。

- 7月4日 11:00 受付開始
- 12:00 企画 1
- 14:00 企画 2
- 16:00 企画 3/ 星雲賞授賞式
- 18:00 開会セレモニー(仮)
- 21:00 企画 4
- 23:00 企画 5
- 25:00 企画 6
- 27:00 企画 7

- 7月5日 10:00 閉会式
- 11:30 終了予定

☆企画は1コマ90分、休憩30分。

県民割引制度について

●栃木県民の方には割引制度があります。
 今回の第四十八回日本SF大会とちぎSFファン合宿 T-con 2009では、「栃木県民割引」という制度を設けました。

栃木県内で行われる今大会において、地元である栃木県在住者の参加をやすくし、参加して楽しかったと感じてもらうことで、地元ファンダムを少しでも活気付けたいと思います。さらには、これからも続く日本大会にも引き続き参加してもらえたり、今回は無理でも大会にスタッフとして協力していただけたり、ついには自分たちでSF大会をやりたいていってくれる人が出てきてくれたり、などなど数多くの期待をこめての割引参加プランです。

このプランが生まれた背景の一つとして、近年のSF大会はスタッフがあまりにも偏っているということがあります。ここ10年、1999年から2008年までに開催された大会を振り返ってみると、大都市圏以外で行われた大会は長野・島根・栃木・岐阜・宮城と、半数に当たる5回あります。しかし、実際にその地方のファングループが中心となって行われたのは、長野と島根だけです。岐阜は距離的に近い事もあって名古屋圏の人が、栃木・宮城は東京圏の人が、それぞれ事前準備スタッフのほとんどを占めていました。たしかに最近ではネット環境もずいぶん発達したので、開催地在住のスタッフが少なくても準備は進められます。ただ、地元スタッフが少ないというのは、やはり寂しいものだと思います。

もうひとつの問題として、スタッフの固定

化があげられます。さきに述べた5つの大会、この多くでスタッフが固定化しているのです。これは、当日のボランティアスタッフではなく、事前準備段階からずっと通して1年なり2年なりスタッフ活動を続ける人達の話です。実際、東京・名古屋・大阪の大都市圏を中心に、この10年中半分以上の大会に関わったと言う方もかなりおられます。

もちろんこの人達はスタッフ活動が好きで続けていると言う面もあります。しかし、2008年12月現在、まだ我々の大会に続く2010年、2011年の日本大会の立候補がないことを考えると、この、いつも準備段階からスタッフとして活躍されていた人たちも、そろそろ疲れが見えてきた時期なのかもしれません。もっといろいろな地方のファンダムに元気になってもらって、順番に開催を担当しながら、日本SF大会がずっと続くような環境を作る一助になることはできないか。そんなことを考えていました。

このたび、栃木で日本SF大会を開くことに賛同していただいた県内外の企業などから、協賛金をいくばくか得ることができましたので、今回はこれを原資として、参加費を高校生と同じにする、ちょっと思い切った県民割引を設けることができました。

実は、前回の栃木で開催された第四十二回日本SF大会(とちぎSFファン合宿 T-con 2003)の時の栃木県からの一般参加者は15人、近年のほかの大会では10名もいないくらいです。そこで、今回は、前回の2倍、近年の3倍の30人ぐらいの方に県内から参加していただき、地元の仲間の人達と「面

白い。次の大会も参加したい」と盛り上がりてもらいたいです。これにより、少しでも地元ファンダムが元気になってもらえればと思います。

この栃木県民割引制度は、栃木県に在住の方を対象としています。割引制度を利用される方は、免許証や住民票など、住所の判る書類を提示していただくことがありますので、ご了承ください。

これを読まれている参加者のみなさま。もし、栃木県在住のお友達の方がいらっしゃいましたら、ぜひとも今回の大会へお誘い下さい。よろしく願いいたします。



塩原周辺観光案内①

T-con2009の会場となる塩原鬼怒川温泉郷は、関東でも有数のいで湯の里として知られています。また、周辺には日光や那須高原など、全国的に有名な観光地も点在しています。せっかく塩原まで来ていただくのですから、ぜひ観光も楽しんで欲しいと思います。

そこで、先日、スタッフ有志で塩原周辺の観光事情を視察して参りました。そこで得られた情報は、このプログレス・レポートで随時お伝えしていきます。

さて。

1回目の今回は、特別製の水陸両用バスを使った「ダムとダム湖探検ツアー」のご紹介です。最初にお断りしておきますが、このツアー、今年の運航は11月30日で終了しております。2009年7月1日から、新しいスタイルで再登場ということですから、ご期待ください。



左下の写真が水陸両用バス「LEGEND 零 ONE号」。全長11.85m、全幅2.5m、全高3.65m。浮上走行時の噴水830mm、車両重量8680kg、乗車定員42名（乗員含む）というモノ。陸上走行時の最高速度は100km/hと、ふつうのバスに遜色ない性能をもちながらも、水上を15km/hのスピードで浮上走行することが出来ます。

大阪は淀川で活躍中の水陸両用バス「チャレンジャー号」が、アメリカ生まれの車両を日本向けに改造したものなのに比べ、こちらは純国産。国土交通省、東海大学、コーワテック、日本水陸株式会社、JAVO（日本水陸両用車協会）などの産官学協同の事業として生まれたということです。

ちなみに、この車を運転するには、大型二種免許と船舶免許が必要ということでした。

ツアーは、まず川治ダムの管理支所に向かいます。川治ダムは、1968年起工、



1983年竣工のアーチ式コンクリートダムです。ツアー客はこんな感じの通路を通じてダム中央に設けられた放水口まで行くことが出来ます。高所恐怖症の人には、ちょっと厳しい感じでしょうか。

その後、バスは川治ダムのダム湖「八汐湖」に向かいます。これは栃木県の県花、八汐ツツジに由来する名前だということ。

そして、いよいよスプラッシュ・イン！
この瞬間から、バスは「車」から「船」になるわけですね。

八汐湖は、鬼怒川上流の流れに沿って、大きなS字を描く形をしているのですが、ここをのんびりと15km/hでの水上走行。湖面を吹き渡る風が、なんとも気分がよいものです。今回の取材は11月末に行われたため、寒さに耐えつつの取材となりましたが、T-con2009の頃はいちばん良い季節なのではないでしょうか。



このバス・ツアーの申込み方法などについての情報は、今後のプログレス・レポートでお伝えしていきます。

これからも、栃木の魅力をどんどん紹介していきたいと思います。

どうぞお楽しみに！

下見合宿のお知らせ

「企画の持ち込みを考えているけどウチの企画は機材の関係で事前に会場を見ておかない」という皆さんへの耳よりなお知らせです。実行委員会では企画持ち込み参加者に向けた下見合宿を行います。翌日予定があるので合宿はちょっとという方は日帰り参加もOKです。

◆日時 2009年1月31日～2月1日

◆参加費 日帰り参加 無料

宿泊参加 10,000円

現地までの交通費含みません。

◆参加申込方法

下記の宛先(メールまたは郵便)に参加者氏名、性別、参加区分(日帰り、宿泊)、予定交通手段、連絡先をお送り下さい。

・宛先 電子メール: info@t-con2009.jp

郵便: 〒328-0075 栃木県栃木市箱森町25-68 第48回日本SF大会実行委員会

・原則、男女別の相部屋となります。宿泊時のルーミングについての希望がある場合は申

スタッフ管理部からのお知らせ

●スタッフ会議に参加してみませんか?

私たちT-con2009実行委員会では、毎月1回、第2土曜日にスタッフ会議を開いています。大会のスタッフとして準備・運営をお手伝いいただけるという方はもちろん、どんな人たちが準備に関わっているのか、ちょっと覗いてみたいという方まで、どなたでも歓迎です。

いちど、遊びにきてみませんか。

場所: ちよだパークサイドプラザ

日時: 1月10日(土)

13:00～17:00

込時に併記してください。ただし別途料金が必要であったり、諸般の事情で希望に沿えない場合があります。

・申込期限 2009年1月20日必着

◆当日のスケジュール

～12:00 集合(ホテルロビー)、受付

12:00～13:00 会議室にて質疑応答、企画局からのグランドタイムテーブルの説明など

13:00～17:00 館内下見

17:00 解散※

18:00 パイキング夕食

食事の後に寝部屋で親睦会を予定しています。(参加費は別途当日集めます)

※那須塩原発 19:32 やまびこ 220号が新大阪までの最終電車となっております。

◆参加にあたっての注意

この時期、塩原周辺は積雪している可能性がありますので、車で参加する場合はスタッドレスタイヤやチェーン等のすべり止めを用意する必要があります。そのため公共交通機関の利用を推奨いたします。



▲ちよだパークサイドプラザへの地図

最寄り駅は秋葉原です。

編集部からのお知らせ

●プログレスレポートはPDFです。

今回も、プログレスレポートはPDFファイルでお届けしました。皆さんには、ダウンロードなどのお手間を掛けてしまいますが、印刷物を配布する従来の方法に比べ、圧倒的なコストダウンをはかることができました。電子化によって節約できた経費は、企画の充実など、大会をより楽しくするうえで必要な分野に振り分けていきたいと思っております。

皆さまのご理解とご協力に心から感謝いたします。

●ご質問やご意見をお待ちしています。

プログレスレポート編集部では、皆さんからのご意見、ご質問をお待ちしております。大会に参加するうえで知りたいこと、大会運営に関するご意見など、なんでもけっこうです。ご質問のなかで、参加者の皆さんに知っていただきたいと私たちが判断したものについては、プログレスレポートのなかでお答えします。それ以外のご意見、ご質問につきましても、担当部署に責任をもって転送いたします。

ご質問、ご意見の宛先は、本プログレスレポートの最後をご参照ください。



T-con2009 概要

●開催日程

2009年7月4日(土)～7月5日(日)

★一泊二日の完全合宿型SF大会です。

●参加費

一般…29,000円(2009年3月末日申込み分まで。以下同様) / 高校生…18,200円 / 中学生…13,200円 / 小学生…9,600円 / 未就学児…7,200円 / 3歳未満…無料

★学齢は大会当日現在となります。また、栃木県に在住の方には「県民割引」制度がございます。

●開催地

〒329-2992

栃木県那須塩原市塩原705

ホテルニュー塩原

実行委員会へのご連絡は

●実行委員会【総合窓口】

〒328-0075

栃木県栃木市箱森町25-68

第四十八回日本SF大会

とちぎSFファン合宿

T-con2009 実行委員会

電子メール: info@t-con2009.jp

★企画関係のお問い合わせも、現在はこちらにお願いします。

●スタッフ管理部

スタッフ関連のお問い合わせは、こちらへ。

電子メール: staff@t-con2009.jp

●Web

http://www.t-con2009.jp